



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社コアコンセプト・テクノロジー 上場取引所 東  
コード番号 4371 URL <https://www.cct-inc.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)金子 武史  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理本部長 (氏名)梅田 芳之 (TEL)03(6457)4344  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|                | 売上高   |   | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 |   |
|----------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
|                | 百万円   | % | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円              | % |
| 2023年12月期第2四半期 | 7,486 | — | 796  | — | 811  | — | 580              | — |
| 2022年12月期第2四半期 | —     | — | —    | — | —    | — | —                | — |

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 580百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 —百万円 (—%)

|                | 1株当たり<br>四半期純利益 |    | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |    |
|----------------|-----------------|----|----------------------------|----|
|                | 円               | 銭  | 円                          | 銭  |
| 2023年12月期第2四半期 | 33              | 65 | 31                         | 76 |
| 2022年12月期第2四半期 | —               | —  | —                          | —  |

(注) 当社は、2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため  
2022年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

|                | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
|                | 百万円   | 百万円   | %      |
| 2023年12月期第2四半期 | 5,895 | 3,480 | 59.0   |
| 2022年12月期      | —     | —     | —      |

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,479百万円 2022年12月期 —百万円

(注) 当社は、2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため  
2022年12月期の数値を記載しておりません。

### 2. 配当の状況

|               | 年間配当金  |        |        |      |    |   |
|---------------|--------|--------|--------|------|----|---|
|               | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計 |   |
|               | 円      | 銭      | 円      | 銭    | 円  | 銭 |
| 2022年12月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | —  | — |
| 2023年12月期     | —      | 0.00   | —      | —    | —  | — |
| 2023年12月期(予想) | —      | —      | —      | 0.00 | —  | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

|    | 売上高    |   | 営業利益  |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属する当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|---|-------|---|-------|---|-----------------|---|----------------|
|    | 百万円    | % | 百万円   | % | 百万円   | % | 百万円             | % | 円 銭            |
| 通期 | 16,093 | — | 1,608 | — | 1,626 | — | 1,133           | — | 65.23          |

（注） 当社は、2022年12月期において連結財務諸表を作成していないため、対前期増減率を記載しておりません。

#### ※ 注記事項

（1） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（3） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4） 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

|             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 2023年12月期2Q | 17,322,800株 | 2022年12月期   | 16,512,000株 |
| 2023年12月期2Q | 150株        | 2022年12月期   | 150株        |
| 2023年12月期2Q | 17,238,050株 | 2022年12月期2Q | 15,768,991株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注） 当社は、2022年4月1日及び2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割をそれぞれ行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報           | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明               | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明               | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明    | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記           | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表               | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書        | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項        | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記)              | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)     | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)    | 8 |
| (企業結合等関係)                    | 8 |
| (重要な後発事象)                    | 9 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための社会経済活動の制限がほぼ解消され、景気は緩やかに持ち直しています。一方でロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギーの供給抑制に伴う急速な物価の上昇や、世界的な金融引き締めを背景とした景気後退懸念等、景気の先行きについては依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社グループが属する情報サービス業界においては、中長期的にシステムインテグレーション(SI)市場規模に緩やかな拡大が見込まれ、その中でも当社グループがサービスを提供しているデジタルトランスフォーメーション(DX)市場が占める割合は急拡大が見込まれます。当社グループが注力する製造業・建設業・物流業では人手不足への対策、ベテランノウハウの継承、脱炭素への取組みが重要な経営課題となっており、これまでの一部の業務のデジタル化に留まらず、大企業を中心に全社横断的なDX投資が加速し、市場の拡大をけん引しています。

また、DXの市場規模拡大に伴い、IT産業における外部委託(BPO)市場規模も拡大しています。しかし、DXを推進するためのITエンジニアは不足しており、人材の需給は逼迫している状況です。このような市場環境に対して、当社グループは広範なビジネスパートナーネットワーク「Ohgi」を有しており、顧客のIT人材の需要に対して迅速に適切な人材を見つけられる体制を築いております。中小IT企業とそこに所属する従業員のデータベースである「Ohgi」は、顧客の人材ニーズに答えられるよう現在もネットワークを拡大中です。また、「Ohgi」を活用してプロジェクト体制を組むことで従業員数以上のDX案件受注が可能になり、この点も当社グループの強みとなっています。

このような状況のもと、当社グループの経営状況は、DX支援については、既存顧客のフォロー及び新規顧客の獲得に注力したことに加えて、支援実績の増加等により製造業・建設業DXを手掛ける会社としての評価は徐々に高まっており、新規案件の引き合いは増加傾向にあります。その結果、売上高は3,578,647千円(前年同期比26.7%増)となりました。

IT人材調達支援についても、既存大手SIerとの着実な取引拡大と新規顧客開拓に引き続き注力しております。営業人員を増員し継続的に体制強化を図っていることで受注は順調に増加しており、またビジネスパートナーネットワーク「Ohgi」の拡大により供給力も増加傾向にあります。その結果、売上高は3,908,170千円(前年同期比34.3%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,486,817千円(前年同期比30.6%増)、営業利益796,577千円(前年同期比15.3%増)、経常利益811,277千円(前年同期比13.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益580,118千円(前年同期比10.6%増)となりました。

なお、当社グループはDX関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は5,895,570千円となり、前事業年度末に比べ781,175千円増加いたしました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金及び契約資産が580,516千円、企業結合によるのれんの発生により198,104千円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,415,033千円となり、前事業年度末に比べ146,671千円増加いたしました。これは主に、外注費の増加に伴い買掛金が122,821千円、未払法人税等が26,171千円増加したことによるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,480,536千円となり、前事業年度末に比べ634,504千円増加いたしました。これは主に、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ26,311千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により580,118千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は59.0%(前事業年度末は55.6%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同期に比べ464,173千円増加し、2,030,320千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、80,541千円（前年同期は190,638千円の収入）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益811,277千円、支出の主な内訳は、引当金の減少額56,485千円、売上債権の増加額525,566千円、消費税等の支払額81,179千円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、289,619千円（前年同期は44,001千円の支出）となりました。

支出の主な内訳は、オフィスのレイアウト変更に伴う什器などの購入による有形及び無形固定資産の取得による支出118,849千円、ページシステム社の子会社株式の取得による支出170,769千円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、40,212千円（前年同期は77,829千円の収入）となりました。

主な内訳は、ストック・オプションの行使に伴う株式発行による収入52,622千円、約定に伴う社債の定期償還による支出12,000千円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想につきましては、公表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| 当第2四半期連結会計期間<br>(2023年6月30日) |           |
|------------------------------|-----------|
| <b>資産の部</b>                  |           |
| 流動資産                         |           |
| 現金及び預金                       | 2,030,320 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産               | 2,575,134 |
| 仕掛品                          | 50,643    |
| その他                          | 136,633   |
| 貸倒引当金                        | △11,129   |
| 流動資産合計                       | 4,781,602 |
| 固定資産                         |           |
| 有形固定資産                       | 354,804   |
| 無形固定資産                       |           |
| のれん                          | 207,771   |
| その他                          | 97,938    |
| 無形固定資産合計                     | 305,709   |
| 投資その他の資産                     | 453,453   |
| 固定資産合計                       | 1,113,967 |
| 資産合計                         | 5,895,570 |
| <b>負債の部</b>                  |           |
| 流動負債                         |           |
| 買掛金                          | 967,783   |
| 短期借入金                        | 100,000   |
| 1年内償還予定の社債                   | 19,000    |
| 1年内返済予定の長期借入金                | 11,757    |
| 未払法人税等                       | 256,334   |
| 賞与引当金                        | 229,492   |
| 品質保証引当金                      | 2,796     |
| 受注損失引当金                      | 71,842    |
| その他                          | 614,401   |
| 流動負債合計                       | 2,273,406 |
| 固定負債                         |           |
| 社債                           | 40,000    |
| 長期借入金                        | 28,160    |
| 資産除去債務                       | 57,301    |
| その他                          | 16,165    |
| 固定負債合計                       | 141,627   |
| 負債合計                         | 2,415,033 |
| <b>純資産の部</b>                 |           |
| 株主資本                         |           |
| 資本金                          | 559,848   |
| 資本剰余金                        | 524,130   |
| 利益剰余金                        | 2,395,970 |
| 自己株式                         | △461      |
| 株主資本合計                       | 3,479,486 |
| 新株予約権                        | 1,050     |
| 純資産合計                        | 3,480,536 |
| 負債純資産合計                      | 5,895,570 |

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

|                  | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年6月30日) |
|------------------|---|
| 売上高              | 7,486,817                                     |
| 売上原価             | 5,573,777                                     |
| 売上総利益            | 1,913,039                                     |
| 販売費及び一般管理費       | 1,116,461                                     |
| 営業利益             | 796,577                                       |
| 営業外収益            |   |
| 受取利息             | 9   |
| 持分法による投資利益       | 15,049  |
| 補助金収入            | 9,090   |
| その他              | 317   |
| 営業外収益合計          | 24,467  |
| 営業外費用            |   |
| 支払利息             | 506   |
| 支払手数料            | 8,436   |
| その他              | 824   |
| 営業外費用合計          | 9,766   |
| 経常利益             | 811,277                                       |
| 税金等調整前四半期純利益     | 811,277                                       |
| 法人税等             | 231,159                                       |
| 四半期純利益           | 580,118                                       |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 580,118                                       |

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

|                 | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|
| 四半期純利益          | 580,118                                       |
| 四半期包括利益         | 580,118                                       |
| (内訳)            |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 580,118                                       |



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| (単位：千円)                                       |           |
|---|-----------|
| 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年6月30日) |           |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>                       |           |
| 税金等調整前四半期純利益                                  | 811,277   |
| 減価償却費   | 44,668    |
| 引当金の増減額(△は減少)                                 | △56,485   |
| 受取利息及び受取配当金                                   | △9        |
| 支払利息及び社債利息                                    | 506       |
| 持分法による投資損益(△は益)                               | △15,049   |
| 補助金収入   | △9,090    |
| 仕掛品の増減額(△は増加)                                 | 3,328     |
| 売上債権の増減額(△は増加)                                | △525,566  |
| 仕入債務の増減額(△は減少)                                | 89,301    |
| 契約負債の増減額(△は減少)                                | △38,800   |
| 未払金の増減額(△は減少)                                 | 44,697    |
| 未払消費税等の増減額(△は減少)                              | △81,179   |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)                      | △13,194   |
| その他   | △1,407    |
| 小計  | 252,995   |
| 利息及び配当金の受取額                                   | 10,774    |
| 利息の支払額  | △375      |
| 補助金の受取額                                       | 9,090     |
| 法人税等の支払額                                      | △191,943  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー                              | 80,541    |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>                       |           |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出                            | △118,849  |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出                      | △170,769  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                              | △289,619  |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>                       |           |
| 社債の償還による支出                                    | △12,000   |
| リース債務の返済による支出                                 | △409      |
| 株式の発行による収入                                    | 52,622    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                              | 40,212    |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)                           | △168,865  |
| 現金及び現金同等物の期首残高                                | 2,199,186 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高                              | 2,030,320 |

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

|         | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)  |
|---------|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 |

(企業結合等関係)

取得による企業結合

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ピージーシステム

事業の内容 ソフトウェアの受託開発、システムの運用・保守、システム開発会社へのエンジニア派遣等

## (2) 企業結合を行った主な理由

株式会社ピージーシステム（以下「ピージーシステム社」）は、山口県宇部市と広島県広島市を拠点に、地場企業や官公庁・自治体向けの各種システム開発及び運用・保守や、システム開発会社へのエンジニア派遣等を手掛けております。

ピージーシステム社を子会社とすることにより、地方拠点の拡大とリソースの確保による事業拡大を図ります。当社が受注した案件への参画や受注力の向上、採用や人材育成のノウハウ提供等によりピージーシステム社の成長に貢献することで、両社の発展を実現できると判断いたしました。

## (3) 企業結合日

2023年5月19日（株式取得日）

2023年6月30日（みなし取得日）

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためです。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

|       |        |           |
|-------|--------|-----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 280,000千円 |
| 取得原価  |        | 280,000千円 |

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 29,996千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

202,137千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

## (2) 発生原因

今後の事業展開により期待される将来の超過収益力から発生したものです。

## (3) 償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間において均等償却する予定です。

## 6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 165,672千円

固定資産 9,089千円

資産合計 174,762千円

流動負債 68,740千円

固定負債 28,160千円

負債合計 96,900千円

## (重要な後発事象)

## (取得による企業結合)

当社は、2022年12月20日開催の取締役会において、株式会社電創（以下「電創社」）を子会社化することについて決議し、2023年2月1日付で株式譲渡契約を締結し、2023年8月1日付で全株式を取得しました。

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社電創

事業の内容 ソフトウェアの受託開発、システムの運用・保守

## (2) 企業結合を行った主な理由

電創社は、神奈川県川崎市を拠点に、金融機関や官公庁・自治体向けの各種システム開発及び運用・保守を手掛けております。当社は、電創社を完全子会社化することによりリソースを確保し、更なる事業拡大を図ります。当社が受注した案件への参画や受注力の向上、採用や人材育成のノウハウ提供等により電創社の成長に貢献することで、両社の発展を実現できると判断いたしました。

## (3) 企業結合日

2023年8月1日

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためです。

## 2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

|       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 10,000千円 |
| 取得原価  |        | 10,000千円 |

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額  
アドバイザー費用等 28,000千円(概算)
4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳  
現時点では確定しておりません。